

かけはし

No. **82**



CONTENTS

- 100周年を迎えて (2)
- 創立100周年記念式典 (3)
- 永年勤続表彰 (3)
- 病院機能評価認定 (4)
- 新入職員紹介 (4)
- 感染管理認定看護師な日々 (5)
- 飛翔会行事：納涼会 (5)
- 認定血液浄化関連臨床工学技士 (6)
- そこに山があるから! (6)
- 「ぼくは『うし』です」 (7)
- 地域医療連携室だより (7)
- 診療日程表 (8)
- 編集後記 (8)

日本医療機能評価機構認定病院
特定医療法人 財団竹政会



セントラル病院

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
TEL.084-924-4141(代) FAX.084-924-8040
●ホームページアドレス <http://www.central-hp.or.jp/>

病院理念

私たちは、安全で良質な医療が提供できるよう最善を尽くし、地域の人々に信頼され愛される病院を目指します。

100周年を迎えて

特定医療法人 財団竹政会
理事長 竹政 敏彦

この度、祖父竹政宣之が大正時代当時の天下橋近く下魚屋町に竹政医院を開設して以来、当財団は無事100周年を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様方のご厚情、ご支援の賜物と深く感謝致しております。

日々の診療を円滑、的確に行うためには、行政、大学の教室、医師会、各医療機関、関連業者の皆様方のお力添えなくしては絶対になしえません。皆様方の変わらぬご支援に対し、心よりお礼申し上げます。

一方、今日を迎えることが出来たのは、セントラル病院・福山循環器病院を現在の発展に導き多大な貢献をされた、今は亡き田邊玄三先生、高木英幸先生、島倉唯行先生、そして歴代院長の折田洋二郎先生、治田精一先生、川村淳先生、現職の高橋健治院長、向井省吾院長を始めとする素晴らしいリーダー達、そしていつも誠実、着実に全力でそれぞれの職務を遂行してくれるスタッフに恵まれてきたからこそであり、本当にありがたく感謝の気持ちで一杯です。

2019年暮れに発生した新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界中が未曾有の災禍に見舞われ、とりわけ医療現場は大変深刻な事態に晒されました。感染拡大の時期には、特に保健所、医師会、救急隊、感染症指定医療機関におかれましては、想像を絶するご苦勞をされました。しかしながら、すべての医療機関が協力し、お互いの機能を補完し合うことによって何とか難局を乗り切る事が出来ました。

そして今、2025年問題を間近に控え少子高齢化が進む中、限られた医療資源でこの地域の医療水準を維持していくためには、引き続き各々の医療機関が更に連携を深め、それぞれの持てる特性を活かし、最大限に効率の良い医療を提供することが極めて重要であると考えます。

その事を十分に認識した上で、各科急性期医療を担うセントラル病院、循環器科に特化し最先端の医療を提供する福山循環器病院が、それぞれに与えられた職責を確実に果たせるよう、今後も皆様のご援助を頂きながら、スタッフ一同、日々の診療に全力で取り組んで参る所存でございます。

引き続き皆様方の温かいご支援、ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。



大正12年頃 天下橋
(現在の麻生時計店近く)



竹政 伊知朗先生

創立100周年記念式典

看護部長 奥永 恵美

令和5年5月12日、福山ニューキャッスルホテルにて、創立100周年記念式典を開催致しました。宮沢参議院議員、枝広福山市長、西岡福山市医師会長をはじめ、多くの医療機関等の先生方にご出席をして頂きました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した時期に、顔の見える式典を開催することができ、久々に賑わいのある時間を過ごすことができました。また、記念講演においては、竹政理事長の従弟である札幌医科大学教授の竹政伊知朗先生により「AIとロボットを駆使した外科医療の最先端」と題し、最新の医療技術と竹政会の歴史を織り込みながら講演をされました。理事長挨拶や講演からも、地域医療を守るため、苦勞されてきた先代や歴代病院長の思いに触れながら、式典を過ごすことができました。これからもセントラル病院の一員として、地域から選ばれる医療機関であり続けられるように地域医療の課題に取り組んでいきたいと考えています。



宮沢 参議院議員



枝広 福山市長



西岡 福山市医師会長

令和5年度 セントラル病院 永年勤続表彰者

20年表彰

永井 恵美 看護師
岸本 知子 看護師
恵谷 和郎 看護師
小林 敏之 臨床工学技士

10年表彰

久保真理子 事務

5年表彰

瀬崎 晴香 看護師
近藤 那菜 看護師
濱崎 真由 診療放射線技師
木谷 友泰 事務
寺脇 早苗 事務
原田美由紀 事務
帯刀 康男 事務

日本医療機能評価機構 病院機能評価認定

事務長 児玉 隆司

当院は今年の1月30日～31日の2日間、日本医療機能評価機構（以下：評価機構）の4回目の病院機能評価更新審査（一般病院1 3rdG：Ver.2.0）を受け、認定されました。

前回審査（2017年）で認定されていたのは2022年4月末迄でした。本来であれば認定期間満了までに更新審査を終えるのですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり審査が受けられない状況が続き、認定期間延長の措置を受けながら受審の機会を待ち、2022年8月末の受審で準備を進めていました。しかし、審査日の4日前に新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生し、更に延期せざるを得ない状況になりました。次に受審可能な時期は翌年の4月または5月頃と伝えられ、ここまで準備してきた疲れとクラスター対応が重なり職員モチベーションは一気に低下したように感じました。その後、評価機構より1月の審査が可能との連絡があり、直ちに受審の申し込みを済ませました。今回は審査直前の延期であったため書類も整っており余裕を持って審査を受けることができました。

当初、病院機能評価の認定が診療報酬の施設基準の要件になるのではと受審した医療機関も多かったようですが、実際には殆ど基準要件にならず、最近は病院機能評価の更新を控える医療機関が増えていると耳にします。しかし、質の高い医療を効率的に提供するためには自助努力が最も重要ですが、更に効果的な取り組みとするためには第三者による評価が有用です。第三者から一定の基準で、組織全体の運営管理および提供される医療について評価を受けることで組織の体制や取り組み、問題点を明らかにすることができると共に、その問題点を改善することができます。また、改善の取り組みによって職員の意識付けの良い機会にもなります。

今回の審査報告書から改善できるところは改善を進め、より質の高い医療が提供できるよう前進していきたいと思っています。



新入職員紹介



頑張ってください!!

看護助手

岡田 優子

5月より病棟にて勤務させて頂いております。医療業界は全くの未経験ですので戸惑う事も多々ありますが、一日でも早く皆様のお役に立てる様、精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

臨床検査技師

五島 穂香

8月に入职しました、検査科の五島です。趣味はゲームで、ポケモンが大好きです。まだ慣れないことも多くご迷惑をおかけする点もあるかと思いますが、毎日精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

感染管理認定看護師な日々

感染管理認定看護師 恵谷 和郎

前回の号で、芝生にとって猫は天敵という話をさせていただきました。どうにかして居なくなってくれないかなと思っていたのですが、大変なことに気づきました。我が家には、ムカデやヤスデ、トカゲなどが居ないので。なんということでしょう。生態系は複雑に関与し、なにかの役に立っているのですね…。猫様と呼ぶことにします。少し可愛らしく見えてきました。

ということは血液培養で生える菌も、何かに役立っているのでしょうか？

ヒトの血液の中には、常に無菌の状態に保たれており細菌や真菌は存在しません。しかし、何らかの理由により血液中に微生物が侵入することがあります。この状態を「菌血症」と呼びます。菌血症は生体にとって異常事態であり、血流に入った菌が全身を飛び散って感染が拡大し、生体の過剰な反応によって「敗血症」と呼ばれる深刻な病態を引き起こすことがあります。

つまり、血液内で細菌が見つかった場合は、他の関与などあるはずもなく、駆逐対象です。庭を荒らす猫様には優しくできそうですが、血液内で見つかった細菌には全く優しくできません。全力で駆逐です。生態系に複雑に関与する猫様とは違いますね。

ところで、家の庭にトネリコの木があります。クマバチがたくさんです。猫様の方でどうにかならないでしょうか…？

追記

いつも素敵な挿絵をしてくれるアヤコイシ☆画伯が個展を開かれました！おめでとうございます！将来大変な価値となることは間違いありません。原画は大事に取っておきます！



イラスト:アヤコイシ☆

飛翔会だより

納涼会を開催して

飛翔会 事務 坂根 潤



7月29日に飛翔会主催の納涼会をアーククラブ迎賓館で開催しました。コロナ禍で、飛翔会の活動を休止していましたが、約3年ぶりに活動開始になりました。今回の納涼会には49名の参加があり、飛翔会の催しがなかった3年間の間に入职した職員は初めての場であり、マスクのないお互いの顔が見える久しぶりの場だったと思います。普段病院内では話すことが少ない他部署との交流に話も弾み、盛り上がりました。

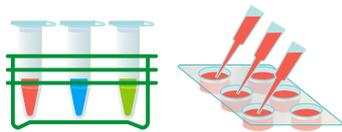
今後の感染状況にもよりますが、職員に交流の場として楽しんで貰えるように、飛翔会の活動を行っていきます。秋には院内旅行を企画していますので、よろしく願いいたします。

認定血液浄化関連臨床工学技士の資格取得を目指して

臨床工学技士 東 広大

日本臨床工学技士会には『専門臨床工学技士』と『認定臨床工学技士』の2つの資格制度があります。私はこの度、2018年度よりスタートした認定血液浄化関連臨床工学技士の資格取得を目指しました。しかし資格取得をするにあたり、いくつかの研修会や学会に参加する必要があり、時間と労力を費やすことに当初は足踏みしていたのが正直なところです。そんな時、家族に相談すると「自分のスキルアップになると思うならやってみたら良いと思うよ。ただ、やるなら1回で合格してね。」というアメとムチの励ましの言葉をもらい、覚悟を決めてチャレンジすることにしました。その甲斐もあって無事1回で合格することができ、只今資格申請中です。

この度の資格取得を目指したことで、血液浄化に関する知識や技術を学び直すことができ、更に新たな知識も得ることができました。当院の臨床工学技士は、主に透析室業務(血液浄化業務)に携わっています。学び得たことを透析室のスタッフと共有し、安全で質の高い治療が提供できるように貢献していきたいと思います。また、日々進歩する医療に携わる身として、今後も自分自身の知識向上に努めていきたいと思っています。



そこには山があるから!

健康管理科 保健師 岩本 美幸



私たちの活動は、暑すぎず寒すぎず、過ごしやすい季節の土曜の午後! 仕事が終わりと、昼食の調達。現場に着くと、まずは腹ごしらえをし、山登り開始です。今までチャレンジした山は蔵王山・仙酔島など。日々のトレーニングは、職場の1階から4階までの階段の往復です。トレーニングも山登りの2週間ほど前から本気を出します。

山頂までは、たぬきに遭遇したり、変わった色・形のキノコを発見したり、しんどい中にも笑いが絶えない道中です。

山頂についた時の達成感。おやつも格別です(*^^*)

皆様、のぼりやすい山・おすすめの山がありましたら情報教えてください。

私、登山を始めました! といっても本格的なものではなく、ウォーキングの延長として家族で始めた山登り。思い立った時に、おにぎりを持って、途中でお昼休憩をし、山頂を目指す、ゆったりしたものです。

現在では、登山部として、職場の方々と一緒に楽しく登っています。



『ぼくは『うし』です』

薬剤師 西川 真理



「ぼくはうしです。でも牛ではありません。猫です。」

先住猫のボス猫を隣家の祖母宅に追い出し、自分が西川家のボス猫になりました。

自分が寝ている椅子の下を他の猫が通ろうとすると猫パンチで頭を叩きます。たまに人が近くを通っても叩きます。値段が安い食事だと見向きもせず、高級な鰹節やいりこを飼い主の父親にしつこくねだっています。飼い主が居ない時は、仕方なく安い食事を食べます。

気に入らない先住猫と目が合うと、睨みつけ、唸り、叩きます。なんともわがままな猫なんです。そんなやんちゃ猫の「うし」という名前はわたしが命名しました。個性的な顔をしています。やんちゃ猫も飼い主が帰ってきた途端、声も表情も変わります。

「ニャゴーン。ゴロニャーン。」

気ままなうしに家族全員メロメロです。

実家に帰って会うのが楽しみです。鰹節といりこをお土産に持って帰ります。

地域医療連携室だより

地域医療連携室
看護師

小寺 美子・谷森 司麻
田中 育美・高橋喜世美
牧野 芳子・前田 育江

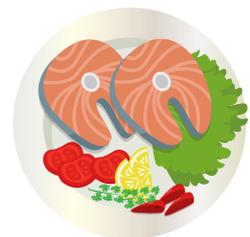
社会福祉士／
精神保健福祉士
小林 道子



猛烈な暑さもようやく和らぎ、日に日に過ごしやすくなってきました。様々な方面で「〇〇の秋」と例えられるように、何をするにも快適なシーズンです。〇〇には何が思い浮かぶでしょうか？

食欲、読書、芸術、紅葉、スポーツ…

長い夏休みを終え、子供たちも学校生活に戻りホッとしている我が家ですが、育ち盛りの子供たちはやっぱり「食欲の秋」です。新米が出始め、ご飯のおかずとして馴染みのある食材といえば、鮭です。私の大好きな魚です。鮭はピンク色の身が特徴的ですが、実は白身魚。このピンク色は、鮭が餌として食べたエビの色素であるアスタキサンチンによるものです。アスタキサンチンには抗酸化作用があり、細胞の酸化を抑え老化を防止する働きがあります。また、EPA、DHA、ビタミンも含まれており、皮ごと食べると脳や健康にも効果があるそうです。アスタキサンチンやビタミンD、ビタミンEなどの栄養素は、油で調理して食べることで栄養を効率的に摂取することができます。ムニエルや唐揚げがおすすめです。私は今度、ちゃんちゃん焼きにチャレンジしてみようと思います。



季節の変わり目ですので、お体にお気をつけて皆さんにとっての楽しみ方で、良い秋となりますようお過ごしください。

(退院支援看護師 高橋 喜世美)

〈セントラル病院診療日程表〉

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	竹政	竹政	後藤	竹政	竹政	田辺 (休診の場合あり)
	午後	16時30分～ 一般外来 スポーツ外来	手術 川大整形	16時30分～ 一般外来 スポーツ外来	手術 川大整形	—	—
外科	午前	高橋	竹原	湯浅	高橋	竹原	担当医
	午後	—	外科(乳腺) 湯浅	—	—	—	—
内科	午前	太田(10時～)	—	太田(10時～)	—	太田(10時～)	立本
	午後	川合	岡本	川合	岡本	佐藤	担当医
検査	GIF	岡本/北村	川合/笹平	岡本/高橋	井上/竹原	川合/北村	担当医
	CF	岡本	北村	川合	岡本	北村	—

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来:月・水16時30分～)
後藤 峰範
田辺 滋樹

(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
河本 豊広

外科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
湯浅 吉夫(総合診療外科)
竹原 寛樹(消化器外科)
折田 洋二郎(乳腺甲状腺外科)
岩本 高行(乳腺内分泌外科)

麻酔科

横尾 千加子

内科

渡辺 康典(呼吸器内科)
岡本 康(消化器内科)
川合 幸延(消化器内科)
北村 悟(消化器内科)
浜井 千香(内科)
太田 浩子(内科)
井上 和彦(消化器内科)
濱田 礼子(内科)
立本 修二(内科)
佐藤 拓史(内科)

※ 乳腺甲状腺外科 折田 洋二郎医師は10月末までの診療となります。

健康管理科より

当院では『地域の方々の健康に』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午前: 8:30～12:00
午後: 13:30～17:00
※土曜日は12:00までの受付です。

診察時間 午前: 9:00～12:30
午後: 14:00～17:30

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
代表TEL:084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472
代表FAX:084-924-8040 FAX:084-920-9278

編集後記



今年もまだまだ暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策による行動規制が緩和され、人の行き来や大規模イベントが各地で徐々に再開しています。

ここ数年おうち時間が長かったので、今年こそは秋を満喫したいものです。

広報委員 薬剤科 西川 真理

セントラル病院の基本姿勢

C:Center 地域医療の中枢
E:Emergency 的確な救急医療
N:Network 院内外の連携体制
T:Technique 高度な医療技術
R:Research 旺盛な研究心
A:Activity あふれる活気
L:Love 深い愛情
H:Hospitality 快適な医療環境
P:Partnership 良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会
セントラル病院
発行責任者 院長 高橋 健治